

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2024年6月10日提出
【発行者名】	SBI岡三アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 塩川 克史
【本店の所在の場所】	東京都中央区京橋二丁目2番1号
【事務連絡者氏名】	中田 尚孝
【電話番号】	03-3516-1432
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	SBI岡三 NASDAQ AIアクティブファンド
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	(1)当初申込期間(2024年6月17日から2024年6月27日まで) 500億円を上限とします。 (2)継続申込期間(2024年6月28日から2025年9月11日まで) 5,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2024年5月31日付をもって提出した有価証券届出書(以下「原届出書」といいます。)について、ナスダック・インクにおいて届け出たファンドの名称での商標利用は認められない旨の決定がなされたため、商標利用が認められるファンドの名称に変更を行うため、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示します。
ファンド名称変更後の投資信託約款も添付いたします。

第一部【証券情報】

(1)【ファンドの名称】

<訂正前>

NASDAQ AIアクティブファンド
(以下「ファンド」といいます。)

<訂正後>

SBI岡三 NASDAQ AIアクティブファンド
(以下「ファンド」といいます。)

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

<訂正前>

（ 略 ）

■ ファンドの特色

1 | 米国のNASDAQ* 上場株式(これに準ずるものを含みます。)を投資対象とします。

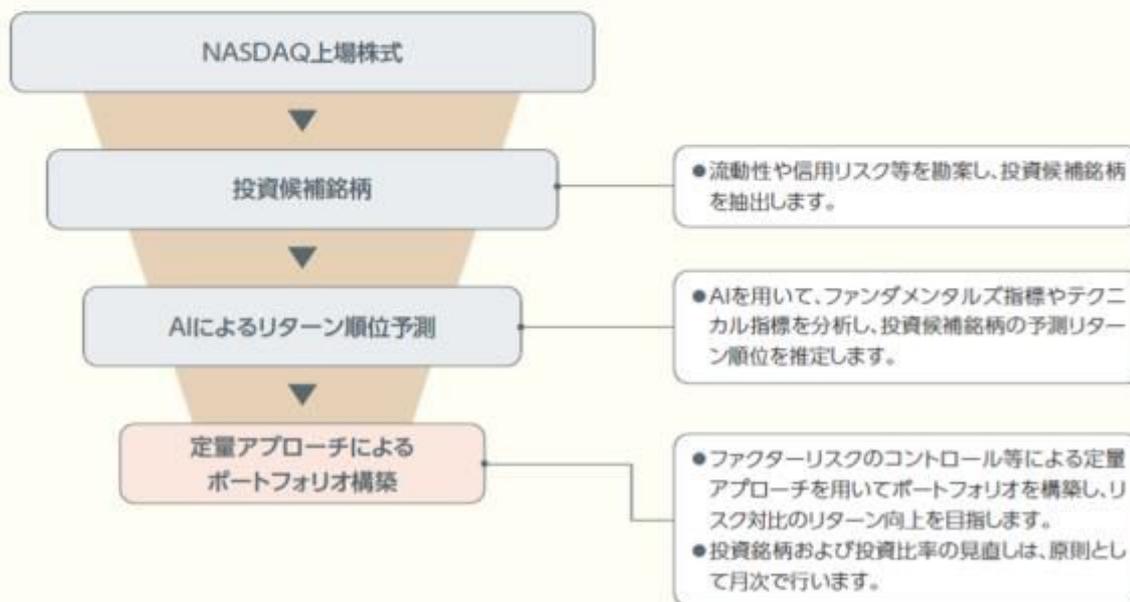
*NASDAQは1971年に開設された米国にある新興企業向けの株式市場です。

●実際の運用はNASDAQ AIアクティブマザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて行います。

2 | 運用にあたっては、NASDAQ上場株式の中から流動性や信用リスクを勘案の上、投資候補銘柄を抽出したのち、ファンダメンタルズ指標やテクニカル指標から人工知能(AI)が投資候補銘柄の予測リターン順位を推定します。

3 | 銘柄の選定にあたっては、予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築します。

「NASDAQ AIアクティブマザーファンド」のポートフォリオ構築プロセス



※ポートフォリオ構築プロセスは変更になる場合があります。

4 | 投資候補銘柄の予測リターン順位、投資銘柄および投資比率の見直しは、原則として月次で行います。

5 | 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。

(略)

<訂正後>

(略)

■ ファンドの特色

1 | 米国のNASDAQ* 上場株式(これに準ずるものを含みます。)を投資対象とします。

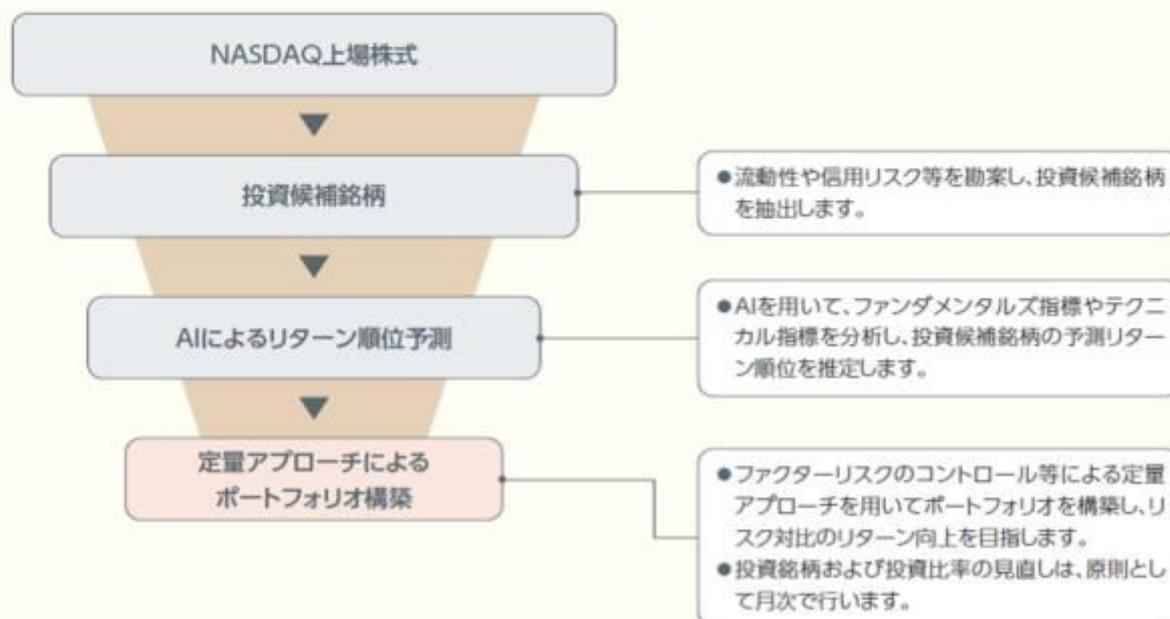
*NASDAQは1971年に開設された米国にある新興企業向けの株式市場です。

●実際の運用はSBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて行います。

2 | 運用にあたっては、NASDAQ上場株式の中から流動性や信用リスクを勘案の上、投資候補銘柄を抽出したのち、ファンダメンタルズ指標やテクニカル指標から人工知能(AI)が投資候補銘柄の予測リターン順位を推定します。

3 | 銘柄の選定にあたっては、予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築します。

[SBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド]のポートフォリオ構築プロセス



※ポートフォリオ構築プロセスは変更になる場合があります。

4 | 投資候補銘柄の予測リターン順位、投資銘柄および投資比率の見直しは、原則として月次で行います。

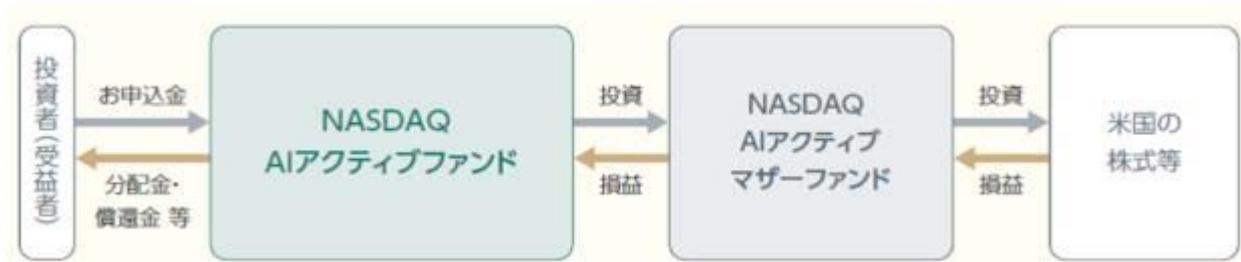
5 | 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。

(略)

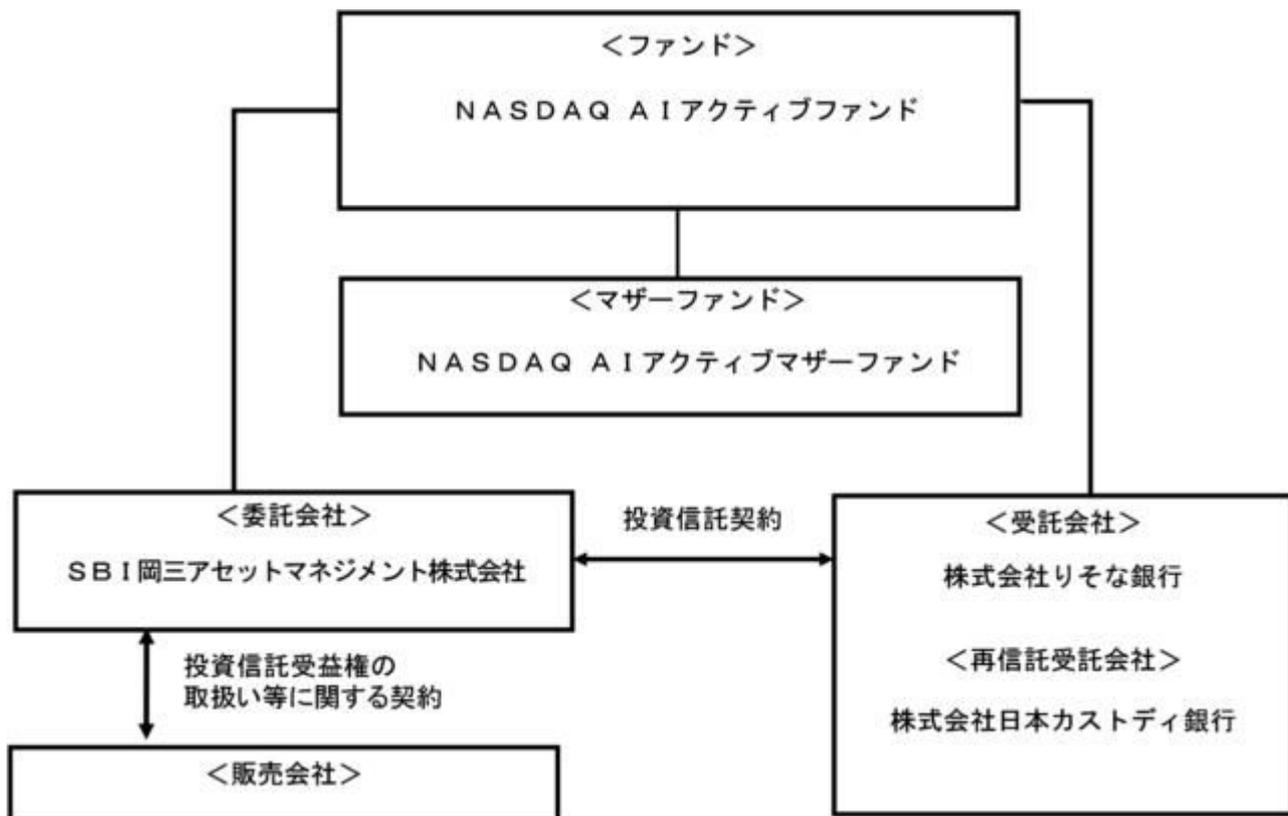
(3) 【ファンドの仕組み】

< 訂正前 >

ファミリーファンド方式
（略）



ファンドの関係法人とその役割



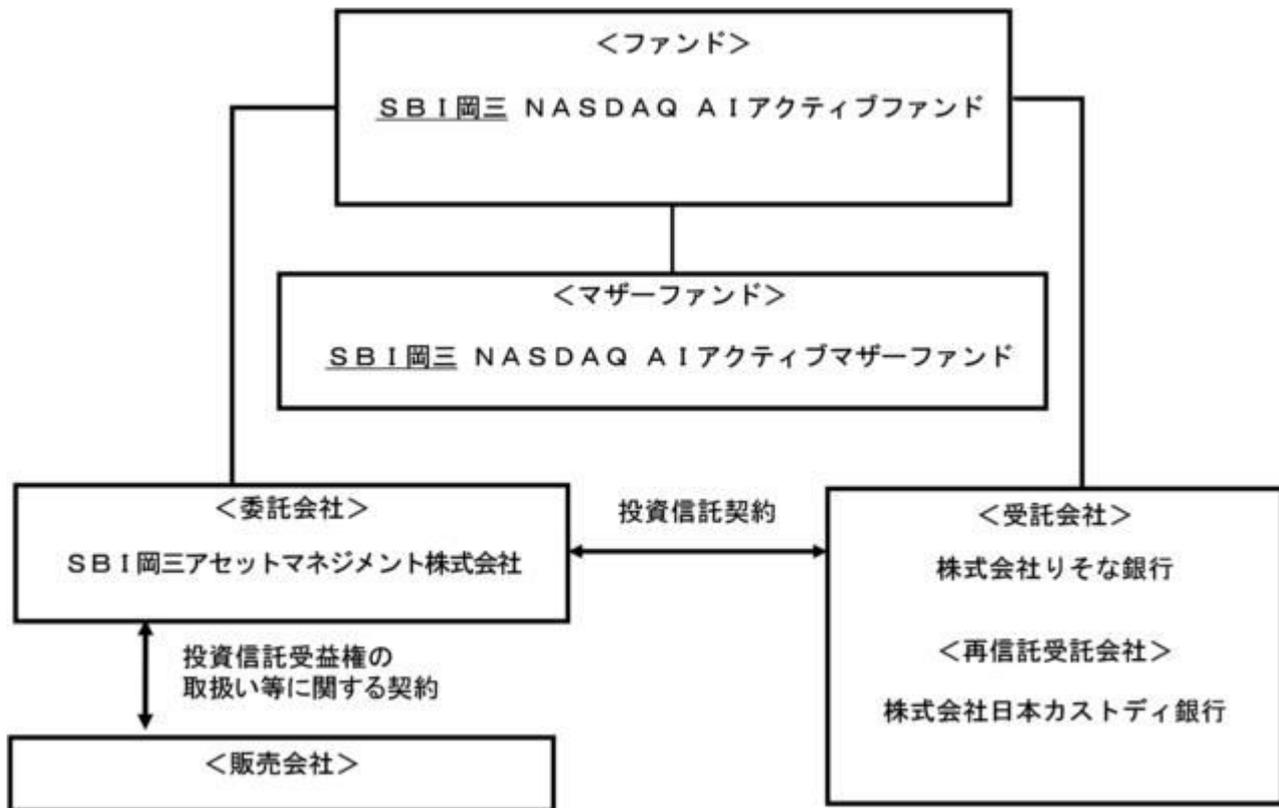
（略）

<訂正後>

ファミリーファンド方式
（略）



ファンドの関係法人とその役割



(略)

2【投資方針】

(1)【投資方針】

<訂正前>

(略)

運用方法

a 投資対象

NASDAQ AIアクティブマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を主要投資対象とします。

(略)

<訂正後>

(略)

運用方法

a 投資対象

SBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を主要投資対象とします。

(略)

(2)【投資対象】

<訂正前>

(略)

運用の指図範囲

a 有価証券

委託会社は、信託金を、主としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社を委託会社とし、株式会社りそな銀行を受託会社として締結された親投資信託であるNASDAQ AIアクティブマザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券のほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

(略)

(参考)ファンドが投資するマザーファンドの概要

NASDAQ AIアクティブマザーファンド

(略)

<訂正後>

(略)

運用の指図範囲

a 有価証券

委託会社は、信託金を、主としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社を委託会社とし、株式会社りそな銀行を受託会社として締結された親投資信託であるSBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券のほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

(略)

(参考)ファンドが投資するマザーファンドの概要

SBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド

(略)